

プレジャーボートの機関故障を防止するために!

次の2点を実施し、機関故障を未然に防止しましょう!

- 発航前検査の実施
- 整備事業者による定期的な整備の実施

日常点検ポイント

代表的な点検ポイント【CHECK】を記載しました。
取扱説明書、保証書・整備手帳と併せて確認しましょう。
交換時期はあくまで目安です。メーカー・モデルや使用状況によっても異なります。



エンジンオイルとエンジンフィルタ

✓CHECK1 エンジンオイル (点検ポイントと交換時期)

・点検ポイント	におい、異物の混入、色・粘度等の点検
・交換時期	ディーゼルエンジン(軽油): 約500時間 船外機: 約6ヶ月 又は 約100時間

✓CHECK2 エンジンフィルタ (交換時期)

・交換時期	ディーゼルエンジン(軽油): 約500時間 船外機: 約6ヶ月 又は 約100時間
-------	--

【アドバイス】

- 1 オイルの交換を怠ると
 - 2 フィルタの定期的な交換を怠ると
 - 3 オイル・フィルタの交換時期
- ピストンなど稼働部の磨耗が促進され、最悪の場合エンジンの焼付きにいたることもあります。
フィルタが目詰まりをおこし、潤滑不良になり、エンジンに重大な損傷を与えるおそれがあります。
どちらも同じ時期なので一度に交換しておく与管理がしやすい。

✓CHECK3 オイルとフィルタの劣化状況



※フィルタの写真は
船外機用

燃料フィルタ

✓CHECK1 フィルタ (交換時期)

・交換時期	ディーゼルエンジン(軽油): 約500時間 船外機: 約1年 又は 約200時間
-------	---

【アドバイス】

「フィルタが汚れてくると燃料の通りが悪くなり、正常な運転ができなくなります。」

✓CHECK2 フィルタの劣化状況



※フィルタの写真は
船外機用

海水ポンプ インペラ

✓CHECK1 インペラ (交換時期)

・交換時期	ディーゼルエンジン(軽油): 約1年 船外機: 約1年 又は 約200時間
-------	--

【アドバイス】

ビニール、ゴミ等の吸込みによる海水ポンプインペラ破損は、大事故につながります。分かりにくい位置についているエンジンもあるので、取扱説明書を参考に実際の設置場所と状況を確認し、羽根が一枚でも欠けていたら交換してください。
なお、点検が難しい場合には整備業者に依頼してください。

✓CHECK2 インペラの破損状況



※インペラの写真は
船外機用

裏面のチェックリストを使用して、運航する前に発航前検査を実施しましょう! 点検方法、ポイントをYouTubeで公開しています。動画を見て点検を行い、機関故障を未然に防ぎましょう。

動画でCHECK!



第六管区海上保安本部 交通部安全対策課

〒734-8560 広島県広島市南区宇品海岸3-10-17 TEL082-251-5111

発航前検査チェックリスト

発航前検査は、船長の義務です。

平成28年7月1日より、発航前の検査義務違反は行政処分の対象となりました。



エンジン始動前の検査

船体の検査

- ① ☐ 船体に亀裂や破口はないですか。
- ② ☐ エンジンルームや船底のビルジ（汚水）の量は普段より多くないですか。



エンジンの検査

- ③ ☐ 航海計画に見合った燃料は十分にありますか。
- ④ ☐ 燃料コック（バルブ）は開いていますか。
燃料フィルターやセジメンター（油水分離器）にゴミや水分の混入はないですか。
- ⑤ ☐ エンジンオイル（潤滑油）の量は十分ですか。
- ⑥ ☐ 冷却清水の量は十分ですか。
- ⑦ ☐ バッテリーの液量は十分ですか。また、ターミナルは十分締め付けられていますか。



救命設備等その他の検査

- ⑧ ☐ ライフジャケットを着用しましたか。
- ⑨ ☐ 通信手段の充電量、予備バッテリーを確認しましたか。
- ⑩ ☐ 気象・海象情報、水路情報は確認しましたか。



エンジン始動後の検査

エンジンの状態確認

- ⑪ ☐ 回転計、冷却水温度計、油圧計、電流計または電圧計は正常値を指していますか。
- ⑫ ☐ 冷却用の海水は通常どおりの量及び勢いで排出されていますか。
- ⑬ ☐ エンジンから異常な音や臭いは出ていませんか。



© 2014 JMRA/KAZI



「海の安全情報」 Webサイトで提供する情報!!

灯台等で観測した
風向・風速等

船舶の航行の制限
・禁止に関する情報

海上工事・海上行事に
よる交通規制情報等

気象警報・注意報

現在地の緯度経度（スマホ版）

など



海の安全情報
スマートフォン用サイト